



5月の園だより



2024年 認定こども園 大津保育園 46-5811 090-1549-6223

新しいクラスでの生活が始まり、1か月が過ぎました。登園時、お母さんとなかなか離れず泣いていた新入園児も、たくさんの先生やお友達にやっと慣れ、明るい笑顔を見せてくれるようになりました。在園児も、ひとつ大きくなった喜びを感じ、落ち着いた日々を過ごしています。

この時期は子ども達にとって、緊張感が解け疲れやすい時期でもあります。ご家庭でも、睡眠・朝ごはんをしっかりとって、元気に過ごしていけるようご配慮いただければと思います。

今月の予定

- 2日(木) 端午の節句会
- 8日(水) 尿検査(2歳以上児)
- 18日(土) 保育参観
(1・3・5歳児)
- 24日(金) 誕生日会

※避難訓練は抜打ちで2回実施します。



端午の節句とは5月5日に、こいのぼり・鎧兜・菖蒲を飾ったり、菖蒲湯に入り柏餅や粽(ちまき)を食べ、男の子の厄よけと成長を祝う行事です。

子どもの日は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」国民の祝日です。子どもの成長を祝う「端午の節句」が5月5日だったことから制定されました。

子どもが親に臨んでいるもの。それは、「どんなキミでもキミが好きだよ」というメッセージです

「シンプルな育児の正解」より抜粋

「あなたが大事」というメッセージを子どもの心に届けたい

子どもが育つためには、絶対に必要なもの、それは「自分は大事にされている」という実感、安心感。あとは子ども自身のさまざまな体験。ごくシンプルに考えれば、この二つだけかなと思います。

たとえば、「明日は遠足だよ」と言ったら「じゃ、あなたの好きなから揚げを作ろうね」と答えてくれるお母さんの笑顔。友達とけんかをしてしょんぼりしていると、「元気ないのね」と顔をのぞきこんでくれるお母さんの心配そうな表情。毎日の生活の中の、ささやかなふれ合いを通じ、自分は大事に思われているんだという実感は育つのだと思います。特別なことではなく、毎日ご飯を食べさせてくれて、気持ちよく寝かせてくれて、元気がなかったら「あらあら、どうしたの」って心配してくれて。そんなベーシックな部分さえしっかりしていれば、子どもは安心して、ちゃんと育っていけるものです。

こいのぼり製作(入園・進級して初の行事製作です)



<つくし>



<たんぽぽ>



<ちゅういっぷ>



<ひまわり>



<すみれ>



<ゆい>

